

「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術」

J I S 原案作成委員各位

平成 27 年 3 月 吉 日

地方共同法人 日本下水道事業団

理事長 谷戸 善彦

一般社団法人 日本コンクリート防食協会

代表理事 五箇 博之

「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術」の
日本工業規格（J I S）制定についてご報告と御礼

早春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、平成 24 年に日本下水道事業団と日本コンクリート防食協会が共同で取り組みました、「下水道コンクリート構造物の防食技術」の J I S 原案作成では、皆様方には委員としてご指導、ご協力いただきましたこと、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

提案した J I S 原案は、平成 25 年 10 月に日本規格協会に提出したのち、経済産業省所管の日本工業標準調査会「土木技術専門委員会」（以下、専門委員会）に付議され、2 回の審議のうえ、本年 1 月末に承認をいただきました。

その後、最終修正を加え最終案として国土交通省に付議され、審議いただくこととなりました。

残すところは、国土交通省内の審議を待つのみとなっており、省内審議終了とともに官報等で平成 27 年 3 月 24 日に公告される予定となっています。

これも偏に、皆様方のご指導、ご協力の賜物と、重ねて御礼申し上げます。

なお、委員の皆様には、JIS 制定後に日本コンクリート防食協会より製本した J I S 本をお送りさせて頂きますので、ご承知いただければ幸いです。

今後引き続きまして、当該 J I S の普及方にお力添え頂きたく、併せてお願い申し上げます。

敬具

J I S原案の承認までの経緯について
(平成 25 年 9 月 3 日第 3 回 JIS 原案作成委員会以降の経緯)

1. 平成 25 年 10 月 30 日：原案の日本規格協会への提出
2. 平成 26 年 1 月 22 日：日本規格協会による、規格調整分科会（土木・建築分野）の開催事務局が出席した。分科会での意見の概要は、以下のとおり。
 - ① 分科会委員からのコメントに対し、原案作成事務局の回答が「原案通り」又は「要確認」等、コメント通り修正できない事項について検討された。

注) 分科会委員からは、J I Sとしての体裁や文言に対するご意見が主な意見であった。
 - ② 主務大臣（国土交通省）の承認を必要とする場合は、修正にあたり予め確認を取ること。

対象箇所：概念⇒概念体系 への変更
 - ③ 設計標準 附属書 M（参考）を規格にしてはどうか。検討すること。
 - ④ 用語の定義が、重複して 4 部とも記述されている。重複用語は概念に記述してはどうか。

事務局より：本規格が制定され、製本されるときにどのような方法によるか（1 冊にまとめられるか分冊になるか）を確認して対応する。以上の意見を基に修正し、再提出した。その後、日本規格協会より国土交通大臣を經由し、経済産業省所管の日本工業標準調査会に付議された。
3. 平成 26 年 9 月 16 日：日本工業調査会「土木技術専門委員会」第 1 回委員会開催審議の概要は、概ね以下のとおり。
 - ① 審議対象
 - ◇ JIS A 7502 - 1 「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術 第 1 部 概念体系」
 - ◇ JIS A 7502 - 2 「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術 第 2 部 設計標準」
 - ◇ JIS A 7502 - 3 「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術 第 3 部 施工標準」
 - ◇ JIS A 7502 - 4 「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術 第 4 部 維持管理標準」
 - ② 審議概要
 - JIS A 7502 は、誰のために制定するのかを明確にする必要がある。
 - 用語が多く定義されているが、一般的に読み取ることが理解できるものは定義せず、最低限のものにしてほしい。
 - 前記の用語を最低限のものにすると、第 1 部「基本概念」は、概念図の説明のみとなり、JIS 規格の一つとして扱えないため、その他のものとの組み合わせを検討してほしい。
 - 全体的に、詳細な事項まで記述しており、マニュアルと思える。マニュアルを JIS 化することは適切ではないため、全体的な見直しを行ってほしい。
 - 第 1 部、第 2 部、第 3 部、第 4 部を比較すると、詳細な記述がある部と概要のみを記述した部がある。全体的にどこまで記述するのか、全体的に統一してほしい。
 - 附属書には、参考までの記載のものが多く、規定となる内容があると思われるため、見直しをしてほしい。
4. 指摘事項に対する修正原案の検討
 - ◇ 出席者：原案作成委員会分科会主査 久保内先生、委員会事務局「JS」福田氏、辻氏、
「JCEP」掛川氏、岡田氏、井上氏
 - ◇ 開催日時：平成 26 年 10 月 16 日、12 月 4 日 2 日間
 - ◇ 修正概要

- 第1部「概念体系」を基本概念とし、JISの全体像を示すものとし、腐食抑制技術と防食技術の両方の対応を行った構造物は、運転管理、点検を行うこととした。そのため、第4部「維持管理標準」は、第1部に組み込むこととした。
- 第2部「設計標準」を『防食設計標準』に、第3部「施工標準」は『防食施工標準』とし、それぞれマニュアル的な記述を削除、附属書の規定、参考の見直しを行った。

5. 修正案の提出

- ◇平成26年12月18日：土木技術専門委員会に提出
- ◇土木技術専門委員会事務局に対し、委員による事前確認とコメントを求めた。
- ◇平成27年1月6日：土木技術専門委員会事務局より、委員からのコメントが届く。
- ◇再修正案を、原案作成委員会事務局で作成した。

6. 再修正案の確認・検討

- ◇開催日時：平成27年1月9日
- ◇出席者：分科会主査 久保内先生、委員会事務局「JS」福田氏、辻氏、「JCEP」掛川氏、岡田氏、井上氏、「オブザーバー」三品氏
- ◇確認・検討の概要
 - 用語の「コンクリート腐食」は一般的ではない。通常には、「コンクリートの劣化」のひとつである「化学的侵食」「化学的腐食」と言われている。
 - 「コンクリート腐食」が定義され、JIS用語として使用されることに懸念を示す土木技術専門委員が存在し、その対応を主に検討した。
 - その他箇所の修正案は、出席者から了承を得た。

7. 平成27年1月30日：日本工業調査会「土木技術専門委員会」第2回委員会開催 審議の概要は、概ね以下のとおり。

① 審議対象

- ◇ JIS A 7502 - 1 「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術 第1部 基本概念」
- ◇ JIS A 7502 - 2 「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術 第2部 防食設計標準」
- ◇ JIS A 7502 - 3 「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術 第3部 防食施工標準」

② 審議概要

- 「コンクリート腐食」の定義については、解説で「下水道分野での特有の用語である」ことを示すことで了承された。
- その他、簡易な指摘事項は、委員長ご確認を前提として、原案は委員会での承認を得た。

※土木技術専門委員会の議事録はHPにおいて公開されています。詳しいご確認をご希望の場合は、以下の手順で検索ください。

JISCで検索 → JISCについて → JISC議事録・配布資料 → 標準第一部 → 土木技術専門委員会（平成26年9月16日・平成27年1月30日日付）

以上

平成27年3月吉日
下水道構造物のコンクリート腐食対策技術
JIS原案作成委員会事務局